

## 地域共生社会実現のための「地域福祉推進の基礎構造」に関する一考察

青木茂<sup>1)</sup>

1) 新潟医療福祉大学 社会福祉学科

【背景・目的】今、地域共生社会を実現するために福祉行政計画の最上位に「地域福祉計画」が位置づけられ、大きな期待が寄せられる一方、従来のように他福祉計画に代替させるようなことが通用しなくなっている事実がある。「地域福祉計画」の策定が努力義務化されたことにより、金太郎飴のように、どこの自治体も同じような計画が立てられることが危惧される。この計画を効果的に推進するための原動力には地域住民のボランティアな参画が重要であることは言うまでもないが、筆者はある地域福祉推進フォーラムで登壇者から「高齢者の見守り活動だ、居場所づくりだと枝葉の話をする前に、活動の担い手不足や財源確保など根元の議論をするべきである。」「地域における福祉活動の担い手の中心は今や高齢者であり、このままだと5～10年後にはコミュニティが崩壊する。」という深刻で切実な声を聴くことがあった。このことを議論するための整理として、戦後の社会福祉の共通基盤制度をドラスティックに変えた、2000年成立の社会福祉事業法等の一部を改正する法律、いわゆる「社会福祉基礎構造改革」を援用して、地域福祉を推進するための構成要素を「地域福祉推進のための基礎構造」と捉え、この基礎構造を土台からぐらつかせる問題の所在について整理、考察する。

【方法】本研究はレビューを中心とした文献研究である。

本研究は、日本地域政策学会第18回全国研究【群馬】大会（2019.6.30）地域福祉計画分科会「地域福祉計画のリアリティを求めて―まちづくりの視点から―の指定討論者として報告した「地域福祉推進のための第2の基礎構造改革を考える」を一部加筆、修正したものである。

なお本研究は文献研究により倫理的、関連する利益相反はない。

【結果】1.地域共生社会の理念とは、少子高齢・人口減少社会という大きな課題は、国全体の経済・社会の存続の危機に直結している。この危機を乗り越えるためには、一つ一つの地域の力を強化し、その持続可能性を高めていくことが必要であり、地域力の強化は、福祉の領域を超えた地域全体が直面する課題を改めて直視する必要がある。地方創生や一億総活躍社会の実現に向けた取組が進められており、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、活躍できる、地域共生社会の実現が求められている。さまざまな課題に直面している地域そのものを元気にしていこうとする地方創生の取組みと誰もが安心して共生できる地域福祉の取組みは別なものではない。福

祉の領域だけでないものとしては、商業・サービス業、工業、農林水産業、防犯・防災、環境、まちおこし、交通、都市計画等を含めた、人・分野・世代を超えて、地域経済・社会全体の中で「人」、「モノ」、「お金」そして「思い」が循環し、相互に支える、支えられるという関係ができることが地域共生社会の実現には不可欠である。

2.社会福祉の基礎構造とは何か<sup>2)</sup>。社会福祉にはいろいろな制度がある。例えば老人福祉とか児童福祉、障害者福祉、生活保護などがあるが、その基礎を支える制度が基礎構造であり、例えば社会福祉事業の範囲・運営の方法・主体、それらを支える福祉事務所、民生委員などである。

3.地域福祉推進のための基礎構造とは。「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「想いと願い」これを地域福祉推進のための「基礎構造」として捉える。これら地域福祉推進の基礎構造がぐらついている地域コミュニティに今、行政などから役割が下ろされてきており、地域は疲弊しているのではないだろうか。

4.社会福祉協議会への問いかけ<sup>3)</sup>。地域福祉を推進する団体である社会福祉協議会は、「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「想いと願い」の不足や未整備に対して、推進方策をもって臨んでいるのだろうか。地域性や住民意識を把握しないで、一律事務的、機械的に進めてはいないだろうか。

【考察】基礎構造①「ヒト」（民生委員・児童委員、主任児童委員、自治・町内会長、支え合いの仕組みづくり会議構成員、ボランティア活動者、一般住民など）

基礎構造②「モノ」（活動拠点、備品、消耗品、つながり、ネットワーク、知識、技術、ノウハウの情報など）

基礎構造③「カネ」（会費、募金、寄附金、補助金、助成金、受託金、販売・サービス提供などの売上金など）

基礎構造④「想いと願い」（安心・安全な地域に住み続けたい、他者のために汗を流すことをいとわない、地域の問題は誰か任せにするのではなく地域住民で解決するなど）

【結論】問題の所在については、基礎構造①として、担い手不足は事実か。事実であればその原因は何か。また解決策はあるか。基礎構造②として、個人情報保護が地域福祉活動の障壁となっているのではないか。基礎構造③として、行政と地域コミュニティは、真の意味でパートナーシップを図ることができるのだろうか。基礎構造④として、地域福祉活動における住民の主体形成の本質は何か。

### 【文献】

- 1)厚生労働省通知：「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」、2017.
- 2)炭谷茂編著：社会福祉基礎構造改革の視座，ぎょうせい，2・3，2003.
- 3)青木茂共著：地域福祉の視点・地域共生社会の実現に向けて，新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第3号「マルチプルソーシャルワーク」，16-17，2017.